

第73回 霧が峰ハイキング

第5支部 東邦化成株式会社

礧部 進

平成27年8月29日(土)雨のち曇り

平成27年8月30日(日)雨のち曇り

天気の悪い中、7時丁度のスーパーあずさ1号に乗り、上諏訪を目指した。途中、甲府盆地に入ると雨は止んでいた。流石に日照時間日本一の山梨県である。しかし、信濃境を過ぎ、長野県に入る頃には雨となっていた。本来なら左に甲斐駒、右に八ヶ岳が車窓から見える？筈だが、山はガスっていて、全く見えなかった。当初は暑い中、霧が峰の涼しい快適なハイキングを想定していたので、参加者に申し訳無く思った。

上諏訪駅でバス組の石井氏、大井氏、小川夫人、森山氏、山本前事務局長、乾氏、大根田氏、私礧部の8名が揃い、9時50分、雨の中、バスで強清水に向った。雨の上があった強清水から徒歩数分で、台東区立霧が峰学園に到着、原夫妻と合流した。ハイキングに行かない森山氏と原氏の2人は残り、ハイキング組は雨支度を整え、11時過ぎに学園を出発した。

曇りの中、学園から、霧が峰自然保護センターに寄り、霧が峰について学習した後、霧が峰インターチェンジ(高速のとは違います)、ゴマ石山(1,765m)経由で車山の肩(1,817m)に向った。12時半頃到着、バイオトイレで用を済ませ、車山(1,925m)に向う。約40分で車山の頂上に到着、場所を選んで昼食を摂った。いつもの紅茶を入れ、石井さんの缶ビールをいただき、約40分休憩した。

車山神社(ちゃんと御柱が4本ありました)で参拝し、整備され過ぎの遠回りになってしまった山道を下り、蝶々深山を目指した。40分弱で蝶々深山(1,836m)に到着、翌日の天気も分からないので、物見岩までピストンし、物見山(1,792m)から沢渡に下ろうとした矢先、大根田氏の膝が故障、背負う訳にも行かないので、超ゆっくりと下る。沢渡まで下れば車が入るので、居残り組の原氏に連絡を取り、迎えを頼んだ。ところが、もう一人の居残り組の森山氏が学園に救援を頼んでしまった為、幸か不幸か、全員が沢渡からマイクロバスで学園に引き上げることとなり、呆気なく初日のハイキングは終了してしまった。

学園に戻って、温泉につかる間も無く、若林氏から上諏訪を出発したとの電話があ

った為、17時20分頃に強清水のバス停に迎えに行った。ここから若林氏が合流して総勢11名で夕食、部屋に戻ってから二次会、10時の消灯前に2度目の温泉に入った。いびきの合唱の中、就寝した。

翌朝、皆、6時前に起床、温泉に入り、7時半、朝食。居残り組3人を置いて、8人が完璧な雨支度で9時頃、学園を出発し、八島を目指した。ここ数日の雨のせいで、留塚からの下りは最悪のコンディションだった。防水性能の良い靴にスパッツの組合せで難なく下り、渡河する場所は増水が予想される為、回り道して、昨日ピックアップしていただいた沢渡に40分で到着。林道から御射山、八島園地を經由して鷲ヶ峰を目指しました。

10時、御射山神社(諏訪大社の分社、社殿前で鎌倉時代には流鏑馬などの競技を奉納していた、対面に観客席の遺構がある)に参拝し、本日の無事と商売繁盛を祈念した後、御射山ヒュッテ前から八島園地に20分で到着、直ぐに鷲ヶ峰の登りにかかった。横殴りの雨の中、45分で鷲ヶ峰に到着。本来なら左に諏訪湖が一望できる筈が、何も見えず、早々に下った。雨で、がら空きと思ったら、登って来る30人近い大パーティーとすれ違った。数人の若い人以外は皆シニアだった。下りも40分程で八島園地に到着。

予定より30分遅れの為、めいめいで昼食を摂ってもらっている間に、原氏に救援を依頼した。原氏に3往復していただき、全員無事に学園に到着、靴を洗い、シャワーですっきりし、1時半過ぎに原夫妻と別れ、学園の送迎バスで上諏訪まで送って貰った。

早朝、ネットで帰りの特急の座席を押さえていたので、特急の時間まで、上諏訪で打上を9名で行った。たまたま八王子までの座席指定を取っていた特急が、実は横浜行きだったので、小川夫人はそのままお帰りになった。残った8名も乗り換えのため、改札口手前まで行ったが、お疲れの我々7人は、今日のハイキングしかしていない元気な若林氏をおいて、おとなしく帰ることとなった。